


江府町の地域おこし協力隊の活動日記  vol.17

『年末に向けて』

今年の農作業もいよいよ大詰め

11月上旬に大豆の刈り取りを終えて、あとは秋耕など令和元年産作物の片付けなどを行っています。全農TACや農業会議の研修などにも通い、農業経営の勉強にも励んでいる所です。

トラクターを洗車して仕事納めするまでは心身共に落ち着かないのですが、1月に始まる奥大山高原みその仕込みの前に、普段手に付けられなかった事務作業などにも着手していきたい所です。



まつもと よしふみ
法人宮市班 松本 良史

冬の活動に向けて

江府町に住んでいると、冬に向けての作業は一年の中でかなり大きいテーマでしょう。特に雪が多い笠原では家を守るための雪囲いの設置や、雪で潰れないようにビニールハウスからビニールを外したり、徹底的に外回りの片づけをしないといけないです。準備万端の状態と雪を迎える事ができたら、心が落ち着きます。

雪が降る前はそんなこんなでバタバタしていますが、今年の冬は新しいことに挑戦します。それは、除雪です！雪の深い江府町では大型の除雪車が欠かせません。現在は、除雪車を動かすために必要な免許の取得に取り掛かっているところです。来シーズンは除雪の作業を受けられるよう、がんばって腕を磨きたいと思います！



くわはた さいもん
農業振興班 柴畑 才文

いよいよ令和元年もカウントダウン！

まだ家の雪囲いなどができていないので、少々焦り気味な今日この頃ですが、家の周りでも銀杏やもみじの葉っぱの絨毯がとても美しく、山々の紅葉も素晴らしくて、やはり江府町の秋は最高だなあ〜と改めて感動しています。11月に入ってから、2回ほど柿原地区の竹林整備のお手伝いをさせて頂きました。この季節に整備するのが竹も乾燥していて一番良いと言われていますが、今年はお天気も良く、気温も高めだったので、みんな汗だくになって作業しました。みなさんがとても元気に力強く動かれているので、まだまだ山に慣れていない私からすると本当にスーパーマンのようです。これからもそんな姿を見習って、今年の冬は私も薪割りや雪かきをしながら少しでも体力作りをしていきたいなと思っています！


もうすぐ雪が降り、どんどんと寒さが増していきますが、あったかい黒文字茶を飲んで、風邪などひかないようにご自愛頂き、どうぞ健康で良い年末年始をお迎えてください。



観光振興班
いわさき ちえ
岩崎 智恵



▲制作した写真パネルについて発表する様子

日野高レポート 

「情熱日野郡」の巻

日野高校3年生による写真展「情熱日野郡」が11月13日(水)から20日(水)まで江府町防災・情報センターで行われました。課題研究の二環として、「日野郡の魅力をもっとPRする」という研究テーマに取り組む生徒が、日野郡内で熱い思いを持って仕事をされている方々取材し、企画した写真を展示しました。

また、11月20日(水)には、ギャラリートークも同センターで開催。中村凜さん、西村実梨さん、森田純平さんが、写真の内容や取り組みについて発表しました。参加者からは「日野郡の魅力を再発見できるとても良い企画だと思います」など感想が述べられました。